

表2：民主党上位4人の主な項目における主張

民主党候補者	傾向	経済	移民政策	ヘルスケア	税制	気候変動	外交	銃規制	環太平洋パートナーシップ (TPP)
ジョー・バイデン氏	中道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済成長のために全国のインフラ整備に投資する。</li> <li>・地域の中小企業の資金調達のための支援プログラムを拡大する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移民を米国の活力の源泉と捉え、移民政策を改革する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オバマケアを継承し、トランプ政権の撤廃の動きに反対する。</li> <li>・公的な健康保険のオプションを選択できるプランを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富裕層のキャピタル・ゲイン免税をやめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2050年までに、100%クリーンエネルギー利用を実現し、循環型社会を実現する。</li> <li>・<b>パリ協定</b>に再び参加し（注2）、主要国との連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフガニスタン、中東などの駐留軍を引き揚げる。</li> <li>・サウジアラビアが進めるイエメン侵略への支援をやめる。</li> <li>・2021年の米国におけるサミット開催を契機として、同盟国との連携を再構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフル銃の製造・販売を禁止する。</li> <li>・ライフル銃の買い戻しを実施する。</li> <li>・銃購入者の身元調査を実施する。</li> </ul>	条件付きで、参加する
ビート・ブッティジェッジ氏	中道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2億ドルを投じて、地域経済活性化戦略を支援する。</li> <li>・有望なイノベーション案件1,000件に対して、10万ドルの支援を行う。</li> <li>・800億ドルを投じて、全国でブロードバンド利用を可能にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移民の生活、仕事、納税など市民権の獲得を踏まえ、移民政策を改革する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>メディケア・フォー・オール（国民皆保険）</b>を希望する人に提供する。</li> <li>・処方箋医薬品の価格を抑える。生命に係る医薬品の製造を拡大する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人税35%を課す（メディケア・フォー・オールの財源）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2040年までに、全ての交通手段で二酸化炭素排出量ゼロを実現する。2050年までに、工業・農業分野での排出量ゼロを実現する。</li> <li>・<b>パリ協定</b>に再び参加し（注2）、ピッツバーグでの気候変動サミットを主催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界をリードし、発展に向かうために外交政策を見直す。</li> <li>・世界の米国への信頼を回復し、米軍の配備基準を見直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・銃購入者の身元調査を実施する。</li> <li>・ライフル銃、大型販売店を禁止する。</li> </ul>	言及なし
エリザベス・ウォレン氏	中道～リベラル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大企業が市場を独占し、中小企業の活動を阻止する現状を改善する。特に独占的テック企業（アマゾン、フェイスブック、グーグルなど）のM&amp;Aの動きを阻止する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>DACA</b>（注1）を復活・発展させる。</li> <li>・難民の受け入れ数を年間12万5,000人に設定し、17万5,000人まで拡大する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>メディケア・フォー・オール（国民皆保険）</b>を推進する。</li> <li>・インスリンなどの医薬品の価格を抑える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行の税制では課税を免れている大企業に課税できる制度に改革する。</li> <li>・富裕層に課税する（5,000万ドル以上の資産に2%、10億ドル以上は6%課税）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2030年までに二酸化炭素排出量を半減し、2050年までに排出量ゼロを実現する。</li> <li>・<b>パリ協定</b>に再び参加する（注2）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パートナー諸国、同盟国との連携を再構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・銃購入者の身元調査を実施する。</li> <li>・ライフル銃の製造、販売、輸入を禁止する。希望者には買い戻し制度を適用する。登録しない所有者には罰金を科す。</li> </ul>	参加しない
バーニー・サンダース氏	リベラル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間当たりの最低賃金を15ドルに引き上げる。</li> <li>・大企業の減税をやめ、地域の中小企業に投資する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>DACA</b>（注1）を復活・発展させる。</li> <li>・移民・関税執行局（ICE）、税関国境保護局（CBP）を解体し、移民政策を抜本的に改革する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>メディケア・フォー・オール（国民皆保険）</b>を推進する。</li> <li>・処方箋医薬品の価格を抑える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富裕層へ相続税を課す。</li> <li>・所得上位1%の層のキャピタル・ゲインや配当の免税をやめる。</li> <li>・1,000万ドル以上の所得に対する税率を引き上げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2030年までに電力、交通機関で100%のクリーンエネルギー利用を実現する。2050年までに脱炭素社会を実現する。</li> <li>・<b>パリ協定</b>に再び参加し（注2）、気候変動へのグローバル対応のリーダーシップを取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフガニスタン、イラク、シリアなどの駐留軍を引き揚げる。</li> <li>・サウジアラビアが進めるイエメン侵略への支援をやめる。</li> <li>・イラン核合意に再び加わり（注3）、イランとの対話を再開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全米ライフル協会の政府への影響力を阻止する。</li> <li>・銃所有者の身元調査を徹底する。</li> <li>・ライフル銃の販売を禁止する。</li> </ul>	参加しない

注1：若年時に入国した移民の強制送還を猶予する措置。

注2：トランプ米政権は2019年11月4日、地球温暖化対策の国際的な枠組み「パリ協定」からの離脱を国連に正式通告した。

注3：ドナルド・トランプ大統領は2018年5月8日、イランの核開発に関する「共同包括行動計画（JCPOA）」から離脱し、この計画に基づき解除していたイランに対する経済制裁の再開を指示した。

出所：各候補者大統領選キャンペーンサイトおよび各種報道を基にジェトロ作成